第26回大洗マラソン サンビーチマイルレース さわやかな潮風をうけて力走！

2月1日（日）、さわやかな晴天の下、2回目となる「サンビーチ・マイルレース」が大洗海浜公園内で開催されました。町内外から参加した964人のランナーは、一般道とは一味違う砂浜の走りを楽しんでいました。

今回は、トライアスロン北京五輪代表の田山寛豪選手をゲストランナーとして迎え、参加者と一緒に走るなど、大会を大いに盛り上げていただきました。

第26回大洗マラソン　サンビーチ・マイルレース　入賞者

種目	親子（小1年以下）	親子（小2・3年）	小4男子	小4女子	小5男子	小5女子	小6男子	小6女子
1位	近藤了司・裕太（日立市）	遠藤　忍・飛翔（福島県）	橋本　聖紀（白方小）	二川　　渚（磯浜小）	長嶋　秀明（磯浜小）	高橋　聖奈（大みか小）	篠塚　知輝（明神小）	小野瀬里奈（夏海小）
2位	磯崎宗久・拓己（大洗町）	弓野公久・凪彩（鹿嶋市）	溝口　琢海（磯浜小）	渡邊　玲奈（大貫小）	飯田　大雅（磯浜小）	細貝　朱里（夏海小）	戸田　悠葵（旭東小）	菅谷　真弓（祝町小）
3位	和田弘明・陽汰（ひたちなか市）	川崎栄治・彩月（ひたちなか市）	丸山　佳樹（磯浜小）	石間　瑞希（磯浜小）	松本　光平（大貫小）	樋口　晴香（外野小）	山戸　大輝（磯浜小）	飯田　真未（磯浜小）
4位	高野光弘・恭平（水戸市）	後藤博政・陽登（鉾田市）	和田　瑞希（佐野小）	白畑　　凪（寿　小）	磯崎　竜也（大貫小）	河野　友香（夏海小）	梶山　　凌（磯浜小）	渡辺　ゆり（夏海小）
5位	小口亜紀人・優紀（城里町）	本澤春夫・吉央（鉾田市）	大毛　哲郎（磯浜小）	柴沼　樹里（磯浜小）	井坂　凌佑（菅谷西小）	郡司かのん（夏海小）	遠峰　健太（徳宿ｽﾎﾟ少）	下山　萌英（大貫小）
6位	生田目文司・友貴（大洗町）	鴨志田裕司・　公（常陸太田市）	中根　大樹（大洋ビーバーズ）	青木　紗佳（旭北小）	矢口　威楓（磯浜小）		小沼　靖幸（稲荷一小）	杉山　結衣（夏海小）

種目	中学男子	中学女子	高校男子	高校女子	一般男子	一般女子	壮年
1位	鈴木　雄大（明光中）	西野　有紀（勝田二中）	藤田　大和（茨城高専）	木村　世奈（太田第一高）	小室　明彦（鉾田市）	斉田　洋子（大洗町）	米川　　武（ひたちなか市）
2位	根本　大輔（勝田一中）	山口　　舞（鉾田南中）	立花　寿樹（佐和高）	白石　彩香（勝田高）	工藤紳一廊（行方市）	野澤　晃子（栃木県）	畠山　幸男（ひたちなか市）
3位	大竹　　徹（那珂湊中）	細谷　彩夏（大洗南中）	岩崎　勝文（勝田養護）	川原場愛美（水戸高等養護）	寄川　盛男（日立市）	関　　美華（大洗町）	鴨志田裕司（常陸太田市）
4位	山崎　宏樹（鉾田南中）	出津　佑奈（鉾田南中）	箱田　　望（水戸高等養護）	尾崎　未佳（水戸飯富養護）	稲葉　知徳（大洗町）	菊池　由香（鹿嶋市）	遠西　克雄（茨城町）
5位	井坂　優汰（勝田一中）	清水　祐佳（明光中）	和地　久崇（水戸高等養護）		原　　竜也（鉾田市）	樋口　純子（ひたちなか市）	下山　一仁（大洗町）
6位	青木　颯斗（鉾田南中）	大山　優花（岩間中）	栗原　俊貴（水戸高等養護）		荻沼　　匠（大洗町）	根目澤五子（日立市）	今野　栄一（大洗町）

第９回大洗町少年少女剣道練成大会

昨年12月14日（日）、大洗町総合運動公園体育館において、大洗町体育協会剣道部の主管により、第9回大洗町少年少女剣道練成大会が開催されました。小学校低学年の部54チーム、高学年の部60チーム、約350名が参加し盛大に開催されました。大洗町からも体協剣道部スポーツ少年団からそれぞれ2チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

町の文化財を守るために

1月27日（火）、願入寺において第55回文化財防火デーが開かれました。この文化財防火デーは、町の史跡や神社仏閣などの貴重な文化財を、火災や震災から守るために、毎年この時期に行っています。

当日は50人が集まり、消防隊による放水訓練や、願入寺関係者による消火器による消火訓練などが行われました。

参加者からは、「今後も継続して訓練し，地域の大切な文化財を後世に残していきたい。」などの声が聞かれました。

▲左から、麻田奈穂さん（神栖市）、粟野典恵さん（下妻市）、田部田直子さん（大洗町）

「第５代ポートフレンズ大洗」が決定

１月２５日（日）、大洗町の観光ＰＲを担うポートフレンズ大洗の選考会が開催されました。当日は県内各地からの応募者が集まり、自己紹介と大洗のイメージＰＲについて個性豊かなスピーチを行い審査員の質問に答えていました。

厳正な審査の結果、第5代ポートフレンズ大洗に左の3名が選ばれ、4月より2年間にわたり大洗の観光ＰＲなどに活躍していただきます。

平成20年度大洗町善行賞授与式

２月５日（木）に大洗文化センターにおいて、町内の小・中学生３３名と、部活動3団体に大洗町善行賞が授与されました。「ごみ拾いを継続して実施している」「自転車がパンクして困っている人を助けた」など、日頃から心がけている行いや、とっさに行動にあらわれた優しい心に対し、毎年贈られています。

▼善行賞を受賞したみなさん

◀鹿島学園の黒澤優選手

「絆」深く、大洗町サッカースポーツ少年団

大洗町サッカースポーツ少年団は、沢山の卒団生が色々な形で子供たちをサポートしています。町内の中学・高校生や県外の大学生も時間を見つけては練習に参加しています。先日も「全国高校サッカー選手権大会」でベスト４に進出した鹿島学園の黒澤選手も練習に参加し、子供たちと楽しいひと時を過ごしました。

大洗町スポーツ少年団は、コーチ、子供たち、卒団生、保護者との「絆」を大切にし、日々の練習に励んでいます。

わが家のアイドル

栗毛（くりけ）　ひかるちゃん
（永町16区の3　H20.11.8生まれ）
お父さん　由光　　お母さん　ゆう子
「きらきら“ ひかる ”わが家の星よ〜♪」

藤枝（ふじえだ）　碧海（あくあ）くん（右）・陽彩（ひいろ）くん
（桜道3区　H18.4.9・H20.9.17生まれ）
お父さん　正道　　お母さん　知子
「仲良く、元気に育ってね。」

大洗ライフスタイル　第29回

「私が惚れこむ大洗」

■大洗が好きで、大洗に定住した方に大洗のどこが好きになったのかお伺いするコーナーです。

「大洗の自然環境が魅力的」

東京都羽田から大洗町に移り住んで３年。五反田にお住まいの中井さんご家族を紹介します。

Q：大洗に移住されたきっかけは何ですか？
A：仕事の関係により大洗町に引っ越してきました。
Q：大洗のどこに魅力を感じましたか？
A：子供たちが入学する学校を見学したとき、校庭の広さと環境の良さに感激。ここで、心も体も大きく育ってほしいと思いました。また、緑も多く、どこまでも続く力強い海、大洗町の景観がとても魅力的でした。
Q：大洗で一番好きな癒しスポットはどこですか？
A：アクアワールドやわくわく科学館には子供たちとよく出かけます。得にわくわく科学館は展示物がどんどん新しくなったり、子供たちを対象にした工作教室や外でも色々な遊びが出来るところが好きです。
Q：町に関連した取り組み活動等はありますか？
A：学校や保育園を通じて、色々な行事に参加していきたいです。
Q：町に対する要望等はありますか？
A：夜間も診てくれる２４時間体制の病院が出来ることが一番の願いです。

大洗町の歴史を見つめて係

人と動物の生活史1

採貝漁（さいかいりょう）の歴史

今が旬の鹿島灘におけるはまぐり漁。大洗町のはまぐり漁は、船で万鍬（まんぐわ）という鉄製の爪を曳（ひ）いて海底をかき、万鍬に付いた袋網（ふくろあみ）の中に貝をためる、貝桁網漁（かいたけあみりょう）が行われています。こうした漁の日本における始まりは、江戸時代の前、中世であったと言われ、瀬戸内海におけるアカガイを対象としたものだと予測されています。

江戸時代の最初の頃までは、鹿島灘にははまぐりはいなかったと言われています。そこで、水戸藩第2代藩主の徳川光圀（義公）が磯浜にはまぐりをまいたところ、年々繁殖し、民はそこから得られる利益を頼るようになったという話が残っています。この話は本当の話なのでしょうか。光圀が磯浜にはまぐりを放流したのは本当であったのかもしれませんが、それまで鹿島灘の海にはまぐりがいなかったというのは、どうやら大げさなようです。

今を遡（さかのぼ）ること、数千年前の縄文時代。当時の大洗町は、鹿島灘の外海とは別に、那珂川・涸沼水系の河口部に湾状になった内海を持ち、二つの海に囲まれていました。そして波の荒い外海には、今と同じ三角形に近い形をしたはまぐり（チョウセンハマグリ）が、波の穏やかな内海には丸みのある形をしたはまぐり（こちらが正式にはハマグリ）の二種類のハマグリ類が生息していました。大洗町に住んだ縄文人は、外海からはチョウセンハマグリを、内海からはハマグリをそれぞれ採集し、食料としていました。そして残った貝殻は、磯浜の吹上や大貫の落神の斜面に捨てていました。この事から、光圀がはまぐりを磯浜にまく遥（はる）か前から、大洗町にははまぐりが生息していたことが分かっています。

（町生涯学習課文化振興係）

約3,500年前のチョウセンハマグリ（左）とハマグリ（右）

おおあらい歌壇 ●勝山一美選

柚子風呂にひたりてしばし年の瀬の不況の風に子等思わるる
永町三区　秋山まさ子

〔評〕景気悪化の世情、雇用不穏の時世に親としての子への気遣いが見える。

新しき年の始めのひむがしに昇る初日のこよなく清し
永町四区　川上　ひさ

〔評〕作者は意識して古語に取組まれる。「新た」は平安時代以前。「東」万葉等々。日本語は美しい。

初春の年の光の柔らかくガラス戸越しに射し込みおりぬ
新町三区　高崎夫左江

〔評〕初春の光は格別に清浄である。とりわけ年を重ねた者にとっては安寧のひと時。

ひたち野に冬のことばを探し来て枯れ葦騒ぐ沼の辺に佇つ
夏海　木野内清太郎

〔評〕常陸野のとある沼地であろう。作者の歌心は、おのづと自然生態に目が向けられる。

幽かなる雨の夜深けを病む妻の汚れ物濯ぎし日々なほ恋し
祝町十区　佐藤　毅

〔評〕さみしいまでの夜半。亡き妻への限りない愛惜の情切々として伝わる。相聞歌である秀歌。

穏しかる海を見放くる丘の歌碑読めば微かに千鳥の声が
寺釜九区　佐藤よし子

〔評〕「見放くる」は遠くを見やる。歌碑の千鳥の歌を読んでいると声が聴えるようだ。

姉の住む熊野を訪へば小雪舞ふ寒に耐えきしかアロエ咲きゐる
金沢一区　古渡　節子

〔評〕和歌山県の姉を尋ね、アロエの花に出逢った。同植物はアフリカを原産地とする。佳作。

硯の墨たっぷりと事始背すじ伸して机に向かう
寺釜九区　三村　住江

〔評〕硯の墨汁に作者の気が入る。そして、背筋を正しているところに初春を感じる。上句・下句ともによい。

帰国すれば如何に語るや研修生として住みたるこの町のことを
永町十六区　身内　ゆみ

〔評〕外国の研修生。短い年月ながら学び修めたものは何だったろう。作者ならずも気になる。よい題材である。

十二月半ばを過ぎて紫陽花の黄葉はすでに霜に萎えをり
桜道五　猿田彦太郎

〔評〕作者の歌歴は永い。本年歌集を上梓された。今後に期待されるものが大きい。

沈みゆく夕日を浴びてみやしろの鳥居静かに赤らみて見ゆ
永町六区　鬼澤のぶ子

〔評〕神社の白い鳥居が茜色に夕日を受けている景。静かな様を捉えて詠んでいる。

白きもの今し零れむ寒空に息ひそめたる静けさ満ちぬ
新町六区　関根　秀子

〔評〕「白きもの」とは雪である。しんしんとしてすべてを静寂の世界に包むのである。

還暦と言わるる我は未熟にて恥をかきつつすべて身につけむ
新町十区　打田　照子

〔評〕一昔前の還暦、古稀に比べ現在はまだまだ若い。作者は更なる成長を願っての一首。

正月に売れ残りしか若松は花屋の店の片隅にあり
永町六区　笹目　孝子

〔評〕年始に当っての飾り松。それが店の隅っこに置かれたままという。作者ならず目を向けたい。

わが町の鎮守の杜ゆ流れくる水を掬えば朽葉の匂いす
祝町　桐原　すみ

〔評〕その土地の鎮り神。天妃神社（てんぴさん）作者には朽葉といえど粗末ではない。「ゆ」は「から」の意。

物忘れ多くなりしよ老いの身を歌詠む毎に日々励まさる
成田五〇　清宮　しげ

〔評〕高齢ともなると誰彼なしにやってくる。併し日々の励みのある作者は幸である。いつも佳い歌を出される。

刻を告ぐる夕焼け小焼けのチャイム鳴り声の弾みて我が老い忘る
永町二区　田山　りゑ

〔評〕遠い昔が甦らせる童謡は限りもなく懐かしい。共に口ずさむ時、心は蘇生する。よいことだ。

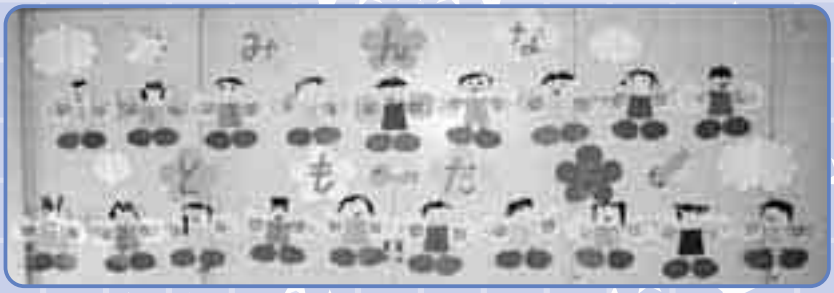
初日の出海は叶わずテレビにてギブスの右手抱えて見入る
南清水一区　広木　チイ

〔評〕今年の元旦の日の出は雲一つない素晴らしい日輪だった。テレビに観る感動が伝わってくる。

嫌われる憎まれ口の多き我か抑える術も老いてはむずかし
寺釜八区　小野瀬保子

〔評〕若い世代との同居には、食事も自ら異なる。老いては子に従えと昔の人は言った。

ぼくとわたしのちびっこギャラリー



もうすぐ1年生!!
ともだちたくさんできました。

滝口保育園
年長　月組

1年間太鼓がんばりました。

アクアワールド大洗の仲間たち

― シラウオ ―

今回は当館の汽水№１展示水槽（平成21年2月9日現在）で飼育展示していますシラウオを紹介します。

シラウオは日本の温帯海岸域の汽水や内湾、河口域に生息し、大洗周辺では涸沼でみることができます。そしてシラウオはみなさんとなじみのあるアユやワカサギ、シシャモと近い仲間であることが知られています。また「白魚のような指」と細く美しい女性の指に例えられますが美人薄命とはまさにシラウオのことで、寿命が1年の年魚であることもこの魚の特徴です。

よく大洗ではババシラウオや本シラスと呼ぶ海で漁獲されるシラウオがいますが、これはよく見ると涸沼のシラウオと種類が異なる場合があります。尾びれの付け根の上と下に黒い点があるとイシカワシラウオという海に棲むシラウオの仲間で別の種類になってしまいます。

現在展示しているシラウオは、飼育員が涸沼で採集してきたものです。他の水族館ではなかなか見ることができない貴重な魚です。その美しい透明な体をぜひ見に来て下さい。

アクアワールド・大洗

http://www.aquaworld-oarai.com　TEL 029-267-5151

健康づくりコーナー
お元気ですか？ 保健師です

結核は昔の病気？ ではありません。

結核は、明治から昭和20年代くらいまでの長い間、国民病などといわれ、50年前には、死亡原因の第１位を占めていたぐらいの病気ですが、最近は昔の病気と思われがちかもしれませんね。ですが、けっしてそうではないようです。

確かに、以前に比較して激減はしたのですが、今でも結核にかかる率は人口10万あたり20.6人で、10人以下になっている欧米先進国から比べると、まだまだ多いといえます。大洗町も同様でけっして少なくありません。

結核ってどんな病気？

結核菌によって、主に肺（肺以外の全身に起こりえます）に炎症を起こす病気です。菌の混じった痰が、せきやくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを吸い込むことによってうつりますが、身体の免疫力や抵抗力があれば、体内に菌が閉じ込められた状態「感染」といい、感染してもそのまま一生過ごす方がほとんどです。この中で、１割の方は免疫力や抵抗力の低下により　結核菌が活動しはじまり「発病」となります。

症状は？

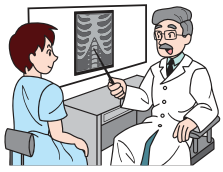
初期症状は、かぜそっくりなので、注意が必要です。タンがでる、微熱がある、寝汗をかく、だるいなどです。さらに症状が進むと、血痰が出たり喀血したりします。比較的ゆっくりと進行するといいますが、抵抗力のない乳幼児が多量の結核菌を吸いこむと、あっという間に重症化してしまいます。

結核と診断されたら？

処方された薬をきちんと内服することが一番の基本です。発病しても全員が排菌して他人に感染させる訳ではありません。もし、そうだとしても確実に治療を受けることにより感染の心配はなくなります。中途半端に、薬を飲んだり飲まなかったりすると、薬に対する耐性ができ、治療が困難となります。

結核を減らすために！

本人の重症化を防ぎ、大切な家族や周りの人への感染をふせぐためにも、せきが長く続く（２週間以上）だるさ、胸痛、体重減少などがみられたら、早めに医療機関を受診しましょう。



編集･発行●大洗町役場町長公室　〒311-1392 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6881-275　☎029(267)5111㈹　URL http://www.town.oarai.ibaraki.jp/
印刷●冨士オフセット印刷株式会社

※この広報紙は、古紙配合の再生紙を使用しています。